

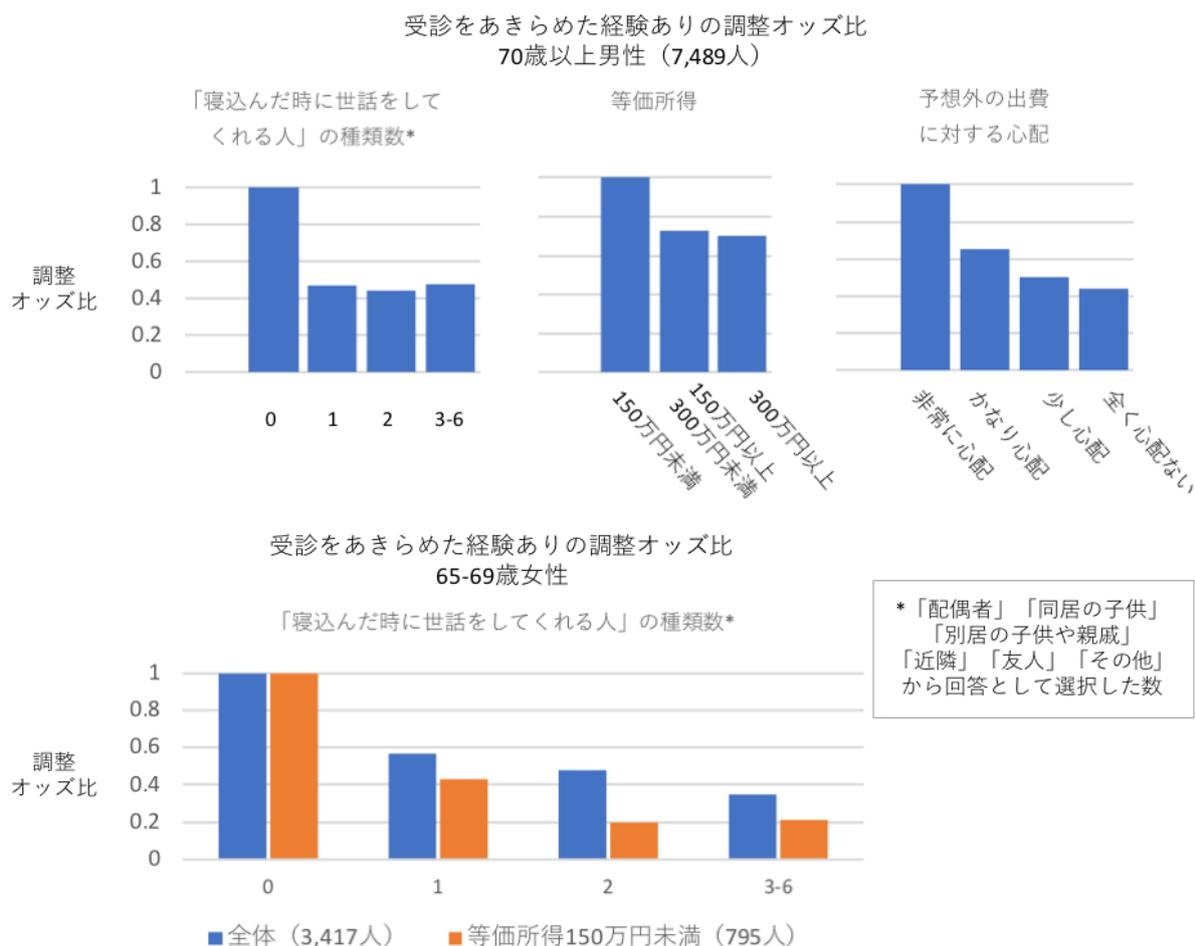
## 世話してくれる人のいる高齢者は

### 受診をあきらめた経験が少ない～低所得群でより顕著

本研究では、受診をあきらめた経験に関する要因について、65歳以上の男女23,079名を対象に調べました。その結果、配偶者、子供、近隣、友人など「寝込んだ時に世話をしてくれる人」がいると、過去1年間に受診をあきらめた経験がある割合（調整オッズ比）が小さくなっていました。この関連は「受診をあきらめた経験」と「所得」との関連よりも大きく、「予想外の出費に対する心配」との関連と同じくらいの大きさでした。特に低所得の65-69歳女性では、寝込んだ時世話をしてくれる人が2種類以上いる人（回答を2つ以上選択した人）は、いない人に比べ、受診をあきらめた割合が1/5でした。

本研究は、多様な社会的支援者を持つことが、受診をあきらめなくてはならない状態、すなわち医療アクセスバリアを低くする可能性を示唆しました。

お問合せ先：名古屋市立大学看護学部 国際保健看護学 樋口倫代 michiyoh@med.nagoya-cu.ac.jp



#### ■背景

日本は世界に先駆けて国民皆保険を達成した国ですが、それでも必要な時に医療サービスを受けられない人が

2018年7月発行

います。例えば、低所得の高齢者に、受診をあきらめた経験がある人が多いことがわかっています。本研究では、所得以外の要因として、どのような社会的支援と社会経済的特性が「受診をあきらめた」経験に関係しているのかについて調べました。

#### ■対象と方法

日本老年学的評価研究(JAGES)プロジェクトが、要介護認定を受けていない65歳以上の男女を対象に2010年に実施した調査データを用いました。その中から「過去1年間に、病気や障害があるにもかかわらず治療を受けなかった、または中断したことがありますか。」という質問の対象となった23,079人を分析しました。社会的支援については「あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は誰ですか」など4つの質問に対し、「配偶者」「同居の子供」「別居の子供や親戚」「近隣」「友人」「その他」から複数選択可で選んでもらいました。社会経済的特性については、学歴、世帯構成、所得(等価所得)、予想外の出費に対する心配、年金の種類を調べました。70歳未満と以上、男女の4層に分けて、受診をあきらめた経験の有無と、社会的支援および社会経済特性との関係を分析しました。さらに等価所得が150万円未満の人だけに限定して、同様の分析を行いました。

#### ■結果

対象23,079人中、1,584人(6.9%)に過去1年に病気でも受診をしなかった経験がありました。65-69歳男性以外で、寝込んだ時に世話をしてくれる人がいると、受診をあきらめた経験ある割合(調整オッズ比)が小さくなりました。この関連は「受診をあきらめた経験」と「所得」との関連よりも大きく、「予想外の出費に対する心配」との関連と同じくらい大きかったです。女性については、世話をしてくれる人の種類(回答の選択数)が多いほど、受診をあきらめた経験ありの調整オッズ比がより小さくなる傾向がありました。等価所得150万円未満の人に限定すると、65-69歳女性と70歳以上男性でこの関係は大きくなりました。特に65-69歳女性では、回答の選択数が2つ以上の人は、いない人に比べ、受診をあきらめた割合が1/5でした。(調整オッズ比は選択数2で0.20、3-6で0.21)

#### ■結論

本研究は、多様な社会的支援者を持つことが、受診をあきらめなくてはならない状態、すなわちアクセスバリアを低くし、高齢者の医療アクセス格差の緩和に役立つ可能性を示唆しました。

#### ■本研究の意義

アクセスバリアを低くするには、保険制度の充実などのしくみが重要です。加えて、社会的支援という金銭面以外の支援が有用であり、低所得群でより関連が大きかったことは、対策において重要な所見です。今後、受診をあきらめた経験が健康や経済におよぼす影響も調べていく必要があります。

#### ■発表論文

Higuchi M, Suzuki K, Ashida T, Kondo N, Kondo K. Social support and access to healthcare among older people in Japan: Japan Gerontological Evaluation Study (JAGES). *Asia Pacific Journal of Public Health*. // *press*

#### ■謝辞

本研究は、JAGESプロジェクトのデータを使用し、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業(2009-2013)、厚生労働科学研究費補助金(長寿科学総合研究事業, H22-長寿-指定-008)の助成を受けて実施されました。JAGES研究会のみなさまに感謝申し上げます。